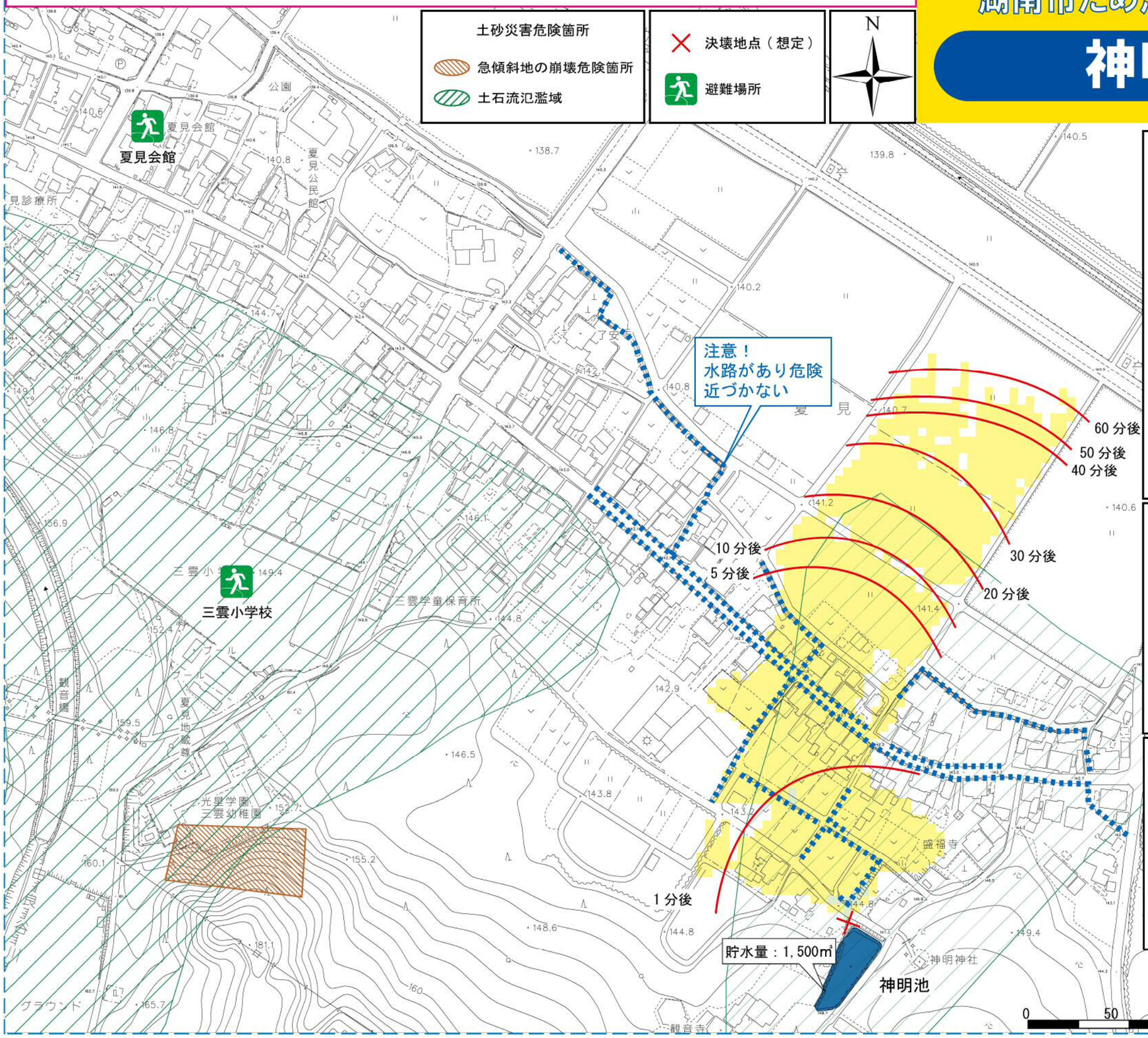
地震発生後は、ため池決壊の恐れがあるので浸水範囲に注意して避難しましょう。

湖南市ため池ハザードマップ

神明池

地震



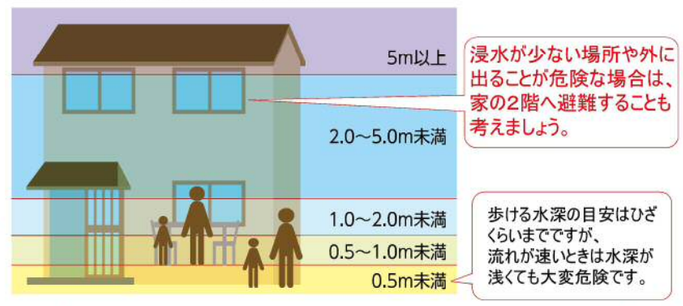
【ため池ハザードマップについての説明】

- 地震により神明池が決壊し、全ての水が下流へと流れてきた場合の最大浸水深を想定したものです。
- 図中の数字（1分後、5分後など）は、地震後にため池が決壊してから水が到達するまでの時間であり、地震が発生してからの時間ではありません。

（地震後、何分でため池が決壊するかは分かりません）

- 大きな地震の時は、浸水する場所から避難する行動が重要です。
- 浸水が少ない場所や外に出ることが危険な場所などは、家の中で安全な場所（2階など）に避難する行動も重要です。
- 非かんがい期には、ため池の水位を下げることも重要です。
- 解析結果は浸水範囲がやや大きくなる傾向がありますが、大雨時には周辺の河川等は氾濫し、着色した範囲外に及ぶことも考えられますので、注意が必要です。
- 周囲の水路は、蓋がない箇所が多いため、ため池が決壊した場合、水路の場所が分からなくなりますので注意が必要です。

浸水時の最大浸水深（色の区分）



浸水到達時間

- ため池
- 1 分後
- 5 分後
- 10 分後

ため池が決壊してから水が到達するまでの時間
（地震が発生してからの時間ではありません）